

【 市町村窓口・警察署・消防署へ報告された事例 】

令和6年度

No.	報告月	協定事業者	気付いた事象	市町村名	つないだ機関
366	令和7年 1月	都城ヤクルト販売 株式会社	午前お届けに伺った際、トイレに入られていて「少し様子がおかしい」と感じたが、「大丈夫だよ」と返事あった為、昼からまた伺うことを伝えた。13時頃再度伺うと、この時もトイレから「大丈夫」と返事もらったが、呂律が回らない感じがしたので、トイレを確認すると、上向きで倒れ動けない状態だった。すぐに救急車を呼んで、息子さんへ連絡した。 ☞ 現在、脳神経外科に入院し治療中。	串間市	消防署 (119番)
365		ワタミ 株式会社	前日のお弁当が残っていて、声を掛けたが出てこれなかった。テレビの音がしていたので、警察に連絡した。 ☞ 一人暮らしで、家の中で亡くなられていた。ご家族より、感謝の言葉をいただいた。	都城市	警察署 (110番)
364		九州東邦 株式会社	13時頃、国道10号線の車道で、泥酔？または認知症？と思われる男性が車を制止しながら移動し、車が渋滞している状況を発見。すぐに110番通報を行い、警察官と連携を取りながら男性を補導し、安全を確保した。	都城市	警察署 (110番)
363	令和6年 12月	宮崎県生活 協同組合連合会 (コープみやざき)	組合員さんから届いた感謝の手紙より 「7月下旬、室内で転倒、足を骨折したらしく全く動けなくなりました。偶然にもこの日は配達日でした。担当のYさんに助けを求め、救急車を呼んでもらいました。Yさんの助けがなければ、猛暑の中どうなっていたかと本当に感謝の気持ちでいっぱいです。入院となり、配達中止。10月中旬退院し、配達の再開を連絡するとすぐにカタログを持ってきてくれました。一人暮らしで買い物に行けない私にとって、このカタログの商品がなければ生活できないのです。共同購入の配達を利用して、本当に良かったと思います。」	宮崎市	消防署 (119番)
362		宮崎日日新聞 宮日会	高齢の読者宅で、新聞が3日ほどポストに溜まっているのを、配達員が配達中に確認した。販売所を通じて警察へ連絡すると、亡くなっていたことが分かった。高齢男性の一人暮らしだったよう。	都城市	警察署 (110番)
361			(8月発生事例) 読者宅の新聞が3日間ほど溜まっていて、電気がつけっぱなしになっているのを、配達員が配達中に確認した。販売所を通じて警察へ連絡すると、高齢者の住人が腰をけがして動けなくなっていたと報告を受けた。	都城市	警察署 (110番)
360		宮崎ヤクルト販売 株式会社	お客様宅訪問の際、ご主人から「中に入って来て」と言われ入ると、奥様の調子が悪く横になっていた。救急車を呼ぼうとしたが、呼ばなくてもよいと言われたので、しばらく一緒に様子を見た後、国富町包括支援センターに連絡をした。夕方、包括支援センターの職員がお客様宅を訪問され、今後、支援認定を受けることになるようで、ご主人も安心されていた。	国富町	国富町 包括支援 センター

359	令和6年 12月	明治安田生命保険 相互会社 宮崎支社	スーパーで買い物をしてレジに並ぼうとしたところ、近くで倒れている高齢男性を発見。お店のスタッフに伝え、救急を要請後、救急車で病院へ搬送された。	延岡市	消防署 (119番)
358	令和6年 11月	明治安田生命保険 相互会社 宮崎支社	スーパーの駐車場で、車いすの人が自動車を降りたところで倒れていた。呼び掛けたが起き上がらないので、お店の方と警察に連絡した。	西都市	警察署 (110番)
357		一般社団法人 宮崎県損害保険 代理業協会	深夜に、歩道も街灯もないところをふらふら歩いている高齢女性を発見。声掛けするも無反応だったため、警察へ通報した。	宮崎市 佐土原町	警察署 (110番)
356	令和6年 10月	株式会社 宮崎太陽銀行	高齢女性より、家族間でトラブルがあるとの相談を受けて、地域包括支援センターに連絡。お客様は名前を言いたくないとのことで、匿名での相談となった。	日向市	地域包括 支援センター
355	令和6年 9月	宮崎県生活 協同組合連合会 (コープみやざき)	組合員さん宅訪問時、先週配達の商品がそのままになっていた。留守の時はメモをくれる方なので疑問に思い、支所に連絡。支所から地域包括支援センターへ相談後に警察に連絡。その後、警官が自宅へ入り確認すると、意識はあったが倒れられていて、救急搬送されたと聞いた。	宮崎市	地域包括 支援センター
354		ヤマト運輸 株式会社 宮崎主管支店	集配中に、初心者マークの方が単独で壁にぶつかる事故を目撃。救急と警察署へ連絡を行い、緊急車両が到着するまで対応に当たった。 ☞ ドライバーの方は幸いにも無事だった。	小林市	消防署 (119番) 警察署 (110番)
353		明治安田生命保険 相互会社 宮崎支社	道端で高齢者の方が倒れていたもので、声掛けして救急車を呼んだ。	宮崎市	消防署 (119番)
352	令和6年 8月	明治安田生命保険 相互会社 宮崎支社	河川近くの駐車場で、近所の認知症の方を保護。地域包括支援センターに連絡を取り、対応してもらった。 ☞ 無事に自宅へ帰られたと聞いた。	日向市 美々津町	南部地域包括 支援センター
351			コンビニで、高額の電子マネーを購入しようとしている高齢者を見かけたので、声を掛けた。メールを見せていただいたところ、詐欺だと気付いたので、本人の了承を得て警察へ通報した。 ☞ 詐欺を未然に防いだということで、感謝状をいただいた。	都城市	警察署 (110番)
350	令和6年 8月	宮崎県生活 協同組合連合会 (コープみやざき)	配達途中、自転車の男性が倒れるのに遭遇。配達担当者がすぐに駆け寄ると、頭から流血していたので消防署に連絡し、救急隊が来るまで寄り添った。救急隊が到着したその後は、引き継いだ。	延岡市	消防署 (119番)

349	令和6年 8月	宮崎ヤクルト販売 株式会社	商品をお届けした翌日に「ヤクルトが無い」と、認知症気味なお客様からセンターに度々電話があった。お盆明けにも「しばらく来ていない」と毎日電話があった為、包括支援センターへ相談の上、担当Y Lとセンターマネージャー、包括支援センタースタッフで訪問。お客様は以前から包括支援センターでケアをされているが、今後の商品のお届けをストップし、今後もしセンターに電話があれば、その都度包括支援センターに連絡、対応してもらうことになった。	国富町	国富町 地域包括 支援センター
348		ヤマト運輸 株式会社 宮崎主管支店	配達先のお宅に伺い声をかけたが、いつも出てこられる方が出てこられなかった。不審に思い、裏手に回って見たところ、仰向けで痙攣されている状態だった為、すぐに救急車を呼び対応した。 ☞ 後日、ご家族より脳梗塞であったと報告をいただいた。もう少し遅かったら、最悪の事態になっていたと感謝された。	西都市	消防署 (119番)
347	令和6年 7月	宮崎県生活 協同組合連合会 (コープみやざき)	配達時、いつも受取場所に出てこられる組合員さんが来なかったので、気になってご自宅へ行くと、その日の新聞がそのままになっていた。一人暮らしで、たまに姪の方が来られるが、連絡先が分からなかったため、地域包括支援センターへ連絡した。 ☞ 夕方、地域包括支援センターの方と警察で、家の中を確認したところ、残念ながら亡くなられていたことが判明。その後、姪の方から、「生協の担当の方が叔母のことを心配してくれて、早く分かって良かったです。冷蔵庫の中はいつも生協さんの商品が一杯で、最後までお世話になり、ありがとうございました。担当の方へお伝えください。」と連絡があった。	宮崎市	地域包括 支援センター
346			地域の受取場所で店主さんが「いつも早く来る〇〇さんが今日は珍しく商品を取りに来ていない。」と心配されていたので、一人暮らしということもあり、商品をもってご自宅を訪問。チャイムを鳴らしても反応がなかったので、支所に連絡して、支所から地区の地域包括支援センターに連絡。ちょうど、その組合員さんの担当の方がいて、妹さんへ連絡を取ってもらうと、宮崎に行っていて夕方に帰ってくることが分かった。	都城市	地域包括 支援センター
345			配達場所にいつも出てこられる組合員さんが来られないので、不思議に思って家に行くと、流しっぱなしの水の音が聞こえた。よく観ると、倒れている足が見えたので、声をかけると、小さなうめき声が聞こえたため、すぐに救急に連絡し、組合員さんの意識があるうちに救急搬送することができた。その間に、近所の組合員さんに親族の連絡先を聴いて、熊本在住の親戚の方に伝える事もできた。 ☞ その後、近所の組合員さんから「気付いてくれてありがとう。」と、お礼の電話をいただいた。	宮崎市	消防署 (119番)

344	令和6年 7月	宮崎日日新聞 宮日会	配達先の70代男性宅で、新聞がポストに溜まっていることに気づいた。電気もついたままで、自動車も駐車してあったため、販売所所長に報告後、所長から警察に連絡を入れた。 ☞ 警察からは家主がどうなっているか教えてもらえず、新聞配達を停止していいのかどうか分からず、対応に苦慮した。	宮崎市	警察署
343		宮崎ヤクルト販売 株式会社	元々認知症があるかなあと感じていたお客様宅に商品をお届けした際、財布が見つからなかった。様子がおかしいと思い、地域包括支援センターへ連絡し、対応をお願いした。 ☞ 翌週、包括支援センターのスタッフが訪問し、デイサービスに週2回通う事になったと聞いた。	綾町	綾町地域包括 支援センター
342	令和6年 6月	日本郵便株式会社 九州支社 (宮崎中央郵便局)	1. 配達のためお客さま宅を訪問したところ、お客さまは体を動かさず、言葉も少し呂律が回らない様子。 2. 綾町地域包括支援センターへ連絡し、状況説明。 3. 地域包括支援センター職員2名がお客さま宅へ訪問後、病院へ同行した。 ☞ 後日、お客さまの娘さまが郵便局窓口に来店され、感謝の言葉をいただいた。医者からは「もう少し遅ければ、何らかの後遺症が残っていたかもしれない。」と言われたよう。	綾町	綾町地域包括 支援センター
341		宮崎日日新聞 宮日会	高齢者宅の新聞受けに3日間新聞が溜まっていた為、配達員が販売所所長に連絡。午前5時ごろ、所長が確認に行ったところ、窓やドアも開けっ放しで、自宅に人がいる気配がなかったため、警察へ連絡。所長立ち合いのもと、警察署員が立ち入って調べたが、結局誰もいなかった。 ☞ その後、警察が調査したところ、男性は病院に入院していたことが判明した。	宮崎市	警察署
340		明治安田生命保険 相互会社 宮崎支社	県道沿いの飲食店前で、転倒して頭を打ち出血している男性(62歳)を介抱し、救急車を呼んだ。 ☞ 救急車で搬送後、無事に翌日の仕事にも行けたようだと、飲食店伝いに聞いた。	日南市	消防署 (119番)
339	令和6年 5月	九州電力株式会社 宮崎支店	1. 訪問に向けて数日間電話連絡を取っていたが、途中で携帯電話の電源が切れた状態となった。 2. 訪問して呼びかけるも、応答なし。 3. 2回目訪問時に出入口を開閉した痕跡がないことと、当初から体調が悪いとの発言があったことから、警察(駐在所)へ状況を説明し、対応を依頼した。 ☞ その後、警察から「亡くなっていた」と連絡あり。	都城市	警察署 (駐在所)

338		都城ヤクルト販売株式会社	道端で男性がうずくまっていたため、声かけしたところ怪我をしていた。近くの交番に行き、救急車を呼ぶなど対応してもらった。	串間市	警察署 ↓ 消防署
337	令和6年 5月	宮崎ヤクルト販売株式会社	「(ヤクルトのお客様である)祖母と連絡が取れない」と、息子のお嫁さんから相談の連絡があった。担当のヤクルトレディが様子確認の為に訪問すると、本人は元気に過ごしており、電話の調子が悪くて連絡がつかない状態になっていたよう。包括支援センターへ連絡の上、状況を伝えると、ケアマネージャーがお客様宅を訪問して、対処してもらった事になった。	日向市	日向市 地域包括 支援センター
336	令和6年 4月	都城ヤクルト販売株式会社	朝訪問時、お留守のため、夕方再訪するも不在。翌日訪問すると、前日干している洗濯物がそのままの状態であったので、安否確認の為に社会福祉協議会へ連絡相談した。 ☞ 入院されていることが確認でき、1週間ほどで退院されたよう。今までも気になることがあったので、今後もしっかりと見守っていきたい。	小林市	社会福祉 協議会 ※
335		ヤマト運輸株式会社 宮崎主管支店	集配中、気分が悪くなり、座り込んでいる方に遭遇。救急へ連絡し、隊員が来るまで付き添った。 ☞ ご家族の方よりお礼の連絡があった。	宮崎市	消防署 (119番)

【 32事例 】

※ つないだ機関 = 社会福祉協議会 ⇒ 「市町村連絡窓口」が小林市社会福祉協議会となっているため、本分類に計上。